1910、2010、2210、2310、2510、2710 LCD モニター

ユーザーガイド

HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

改訂第 1 版： 2010 年 1 月

製品番号：594300-292

このガイドについて

このガイドでは、モニターのセットアップ、ドライバーのインストール、オンスクリーンディスプレイメニューの使用方法、トラブルの解決方法、およびモニターの仕様について説明します。

警告！ その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こすおそれがあるという警告事項を表します。

注意： その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こすおそれがあるという注意事項を表します。

注記： 重要な補足情報です。

目次

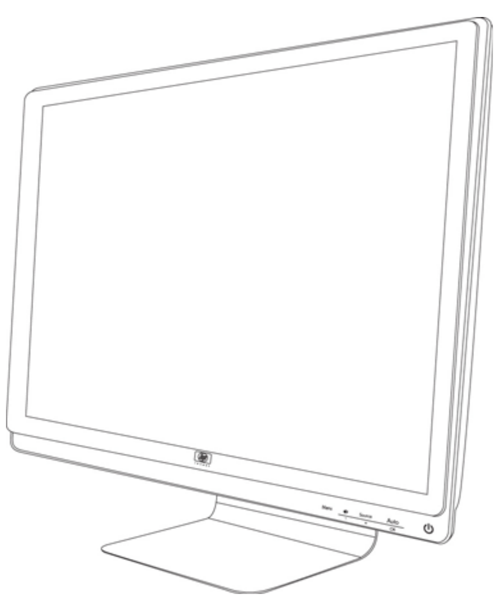
1 製品の特長

HP LCD モニター

HP LCD（液晶ディスプレイ）モニターでは、以下の特長を持つアクティブマトリクス方式の薄膜トランジスタ（TFT）画面を採用しています。

- 対角表示領域の大きな、ワイドディスプレイ
- 最大グラフィックス解像度：
  - 1910m：1366×768（60 Hz の場合）
  - 2010f：1600×900（60 Hz の場合）
  - 2010i：1600×900（60 Hz の場合）
  - 2010m：1600×900（60 Hz の場合）
  - 2210i：1920×1080（60 Hz の場合）
  - 2210m：1920×1080（60 Hz の場合）
  - 2310i：1920×1080（60 Hz の場合）
  - 2310m：1920×1080（60 Hz の場合）
  - 2510i：1920×1080（60 Hz の場合）
  - 2710m：1920×1080（60 Hz の場合）
  - 上記の解像度以下でのフルスクリーンサポート
- VGA アナログ信号
- DVI デジタル信号
- HDMI（High-definition multimedia interface）（一部のモデルのみ）
- すばやい応答により、ハードコアゲームやグラフィックスの操作性を向上
- 座った状態、立った状態など、上下左右さまざまな角度から見やすい画面
- ゲームや動画の再生時により引き締まった黒、輝く白でメリハリのある映像を実現する、Dynamic Contrast Ratio

- 上下の向きの調整
- 左右の向きの調整
- 取り外し可能なスタンド、および壁など設置場所に応じて簡単に取り外しができる VESA (Video Electronics Standards Association) 基準の取り付け穴（壁への取り付け器具は別売です。）
- セキュリティロックケーブル用のセキュリティロックスロット（セキュリティロックケーブルは別売です）
- プラグアンドプレイ機能（お使いのコンピューターシステムでサポートされる場合）
- 設定や画面の最適化を簡単にする、オンスクリーンディスプレイ（OSD）による調節機能（英語、簡体字中国語、繁体字中国語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、オランダ語、日本語、ブラジルポルトガル語を選択可能）
- 高音質の内蔵ステレオスピーカー
- キーボード収納スペース
- 省電力機能
- [Quick View]（クイック ビュー）設定による画面表示
- HDCP 対応 DVI および HDMI 入力（一部のモデルのみ）
- 以下の内容をソフトウェアおよびユーティリティ CD に収録：
  - ドライバー
  - 自動調整ソフトウェア
  - 説明書



2　安全および保守に関するガイドライン

安全に関する重要な情報

お使いのモニターには電源コードが付属しています。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属している電源コードのみをお使いください。モニターに接続する適切な電源コードについては、7 ページの 「モニターのセットアップ」の「電源コードの接続」を参照してください。

⚠ **警告！**　感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

・必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。

・電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にあるアースされたコンセントに差し込んでください。

・製品への外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っ張らないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をする際の姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電気的/物理的安全基準についての情報も提供しています。『快適に使用していただくために』は、HP の Web サイト（http://www.hp.com/ergo から［日本語］を選択します）から参照できます。また、モニターに説明書等のドキュメントを収録した CD が付属している場合はこの CD にも収録されています。

△ **注意：**　お使いのモニターやコンピューターを保護するために、コンピューターおよびその周辺装置（モニター、プリンター、スキャナーなど）のすべての電源コードを、サージ防止機能のあるマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ保安器に接続してください。すべてのマルチソケットがサージに対応しているわけではありません。サージ防止機能のあるマルチソケットをお使いになることをおすすめします。サージ防止に失敗した場合はお使いの機器を交換できるように、損傷交換ポリシーを提供している製造販売元のマルチソケットを使用してください。

HP LCD モニターを十分に支えられる大きさの、適切な作業台に置いてください。

⚠ **警告！**　化粧台、本棚、戸棚、スピーカー、台車などに LCD モニターを置くと、モニターが倒れてけがをするおそれがあります。

LCD モニターに接続されたすべてのコードやケーブルは、引っ張ったり、つかんだり、つまずいたりしないように、適切に配置してください。

安全に関する注意事項

- 外部電源は、モニター裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、また電源コードに接続する機器の定格電流の合計が電源コードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（Amps または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にある電源コンセントの近くに設置してください。電源コードをコンセントから外す時は、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っ張って抜かないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。

保守に関するガイドライン

お使いのモニターの性能を向上させ、長く使い続けるために、以下のガイドラインに従ってください。

- モニターのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このマニュアルに記載されている調整機能のみを使用するようにしてください。正常に動作しない場合や、モニターを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、モニター裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、また電源コードに接続する機器の定格電流の合計が電源コードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMP または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にある電源コンセントの近くに設置してください。電源コードをコンセントから外す時は、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っ張って抜かないでください。
- モニターを使用していない時には、モニターの電源を切るようにしてください。スクリーンセーバープログラムを使用したり、モニターを使用していない時に電源を切るようにすると、モニターを長くお使いいただけます。
- キャビネットのスロットや開口部は通気のために用意されています。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニターは通気のよい場所に設置し、過度の高熱や湿気にさらさないようにしてください。
- モニタースタンドを取り外す時は、モニターの表面を傷つけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所にフロントパネルを下にして置いてください。

モニターの清掃

1. モニターとコンピューターの電源を切ります。
2. モニターの電源コードを電源コンセントから抜きます。
3. モニターのプラスチック部分を、水で軽く湿らせた清潔な布で拭きます。
4. モニター画面を、静電気防止剤の入った市販のクリーナーで拭きます。

△ **注意：** ベンジン、シンナー、アンモニアなどの揮発性の溶剤を使ってモニター本体や画面を拭かないでください。このような化学薬品を使うと、モニター本体や画面が損傷することがあります。

モニターの運搬

モニターを運搬する時は、モニター出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の材料を使用してしっかり梱包してください。

モニターを運搬する時は、以下の準備を行います。

1. 電源コード、ビデオケーブル、およびオーディオケーブルをモニターから取り外します。
2. モニタースタンドを、柔らかい安全な場所に置きます。
3. モニタースタンドの、モニター背面に接続する部分を片手で持ち、画面を前に倒して折りたたみます。
4. モニターとスタンドを梱包箱に入れます。

3　モニターのセットアップ

モニターの梱包を解く

1. モニターの梱包を解き、内容物がすべて揃っていることを確認します。梱包箱は保管しておきます。
2. コンピューターおよびその他の接続された装置の電源を切ります。
3. モニターを机に置くか、または壁に取り付けるかを決めます。この章の「モニターの取り付け」を参照してください。
4. モニターを設置するための平らな場所を準備します。設置準備の間、モニター画面を下向きにして置くために、平らで柔らかい、安全な場所が必要になる場合があります。
5. モニターを壁に取り付けるには、プラスのドライバーが必要になります。また、一部のケーブルを固定するためにマイナスのドライバーが必要になる場合があります。

モニターの取り付け

モニターは机に置くことも、壁に取り付けることもできます。モニターは作業がしやすく通気のよい、コンピューターの近くの場所に置くようにしてください。モニターの取り付けが終了したら、モニターケーブルを接続してください。

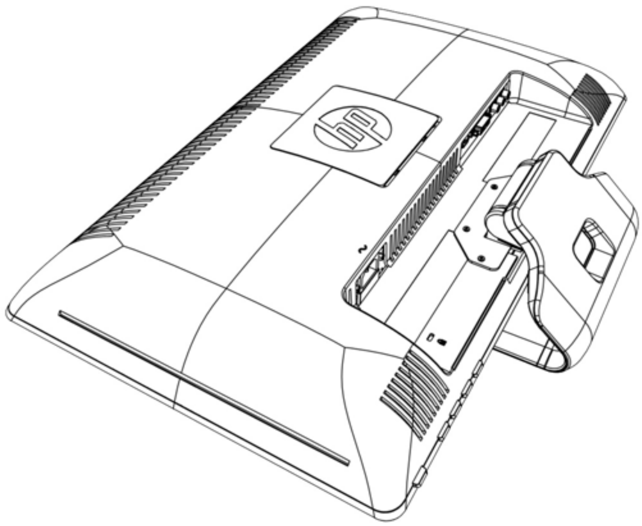
注記：　光沢のあるベゼルを持つディスプレイの場合は、周囲の光や明るい表面からの乱反射が起きるおそれがあるため、ディスプレイの配置をよく検討してください。

モニターを机で使用する場合の準備

1. モニター画面を下向きにして、平らで柔らかい、安全なテーブルや机に置きます。モニターの支柱が机の端からはみ出るようにします。

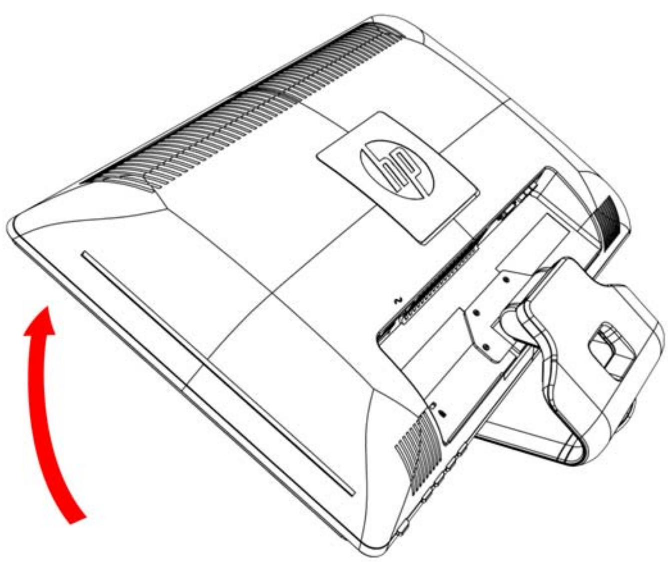
△ **注意：** 画面は壊れやすいものです。LCD 画面に触れたり、圧力を加えたりすることは避けてください。画面が損傷するおそれがあります。

図 3-1 モニターを開く



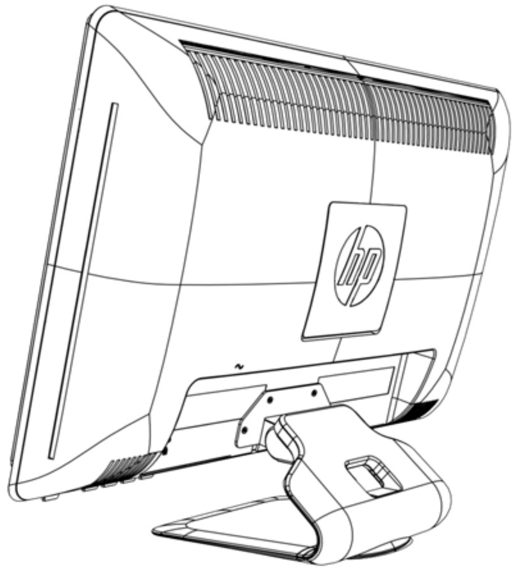
2. モニタースタンドの、モニター背面との接続部を片手で押さえたまま、モニターの上部を目的の位置まで持ち上げて開きます。

図 3-2 モニターを開く



3. モニターを直立した状態になるまで持ち上げ、平らで安定した場所に置きます。

図 3-3 モニターを開いた状態



モニターを壁に取り付ける場合の準備 ※壁への取り付け器具は別売です。

1. 固定器具が丈夫であることを確認します。

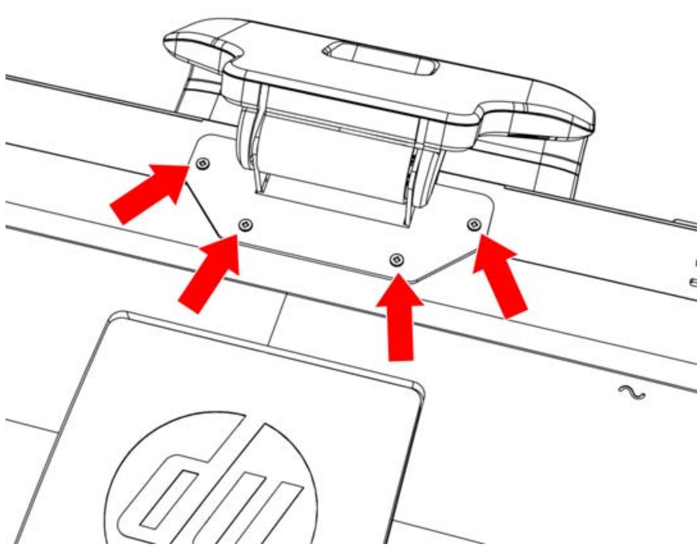
⚠ **警告！** けがや装置の損傷を防ぐため、モニターを取り付ける前に、固定器具が正しく取り付けられしっかりと固定されていることを確認してください。固定器具の説明書を参照し、このモニターの重さに耐えられるものであることを確認してください。

2. 電源コードおよびその他のケーブルをすべてモニターから取り外します。

3. モニター画面を下向きにして、平らで安全な場所に置きます。

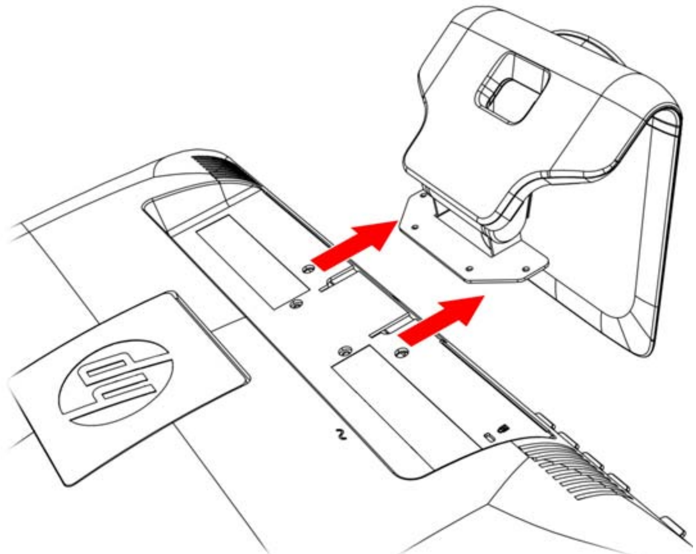
4. モニタースタンドをモニターに固定している 4 つのネジを取り外します。

図 3-4 モニタースタンドをモニターに固定しているネジの位置



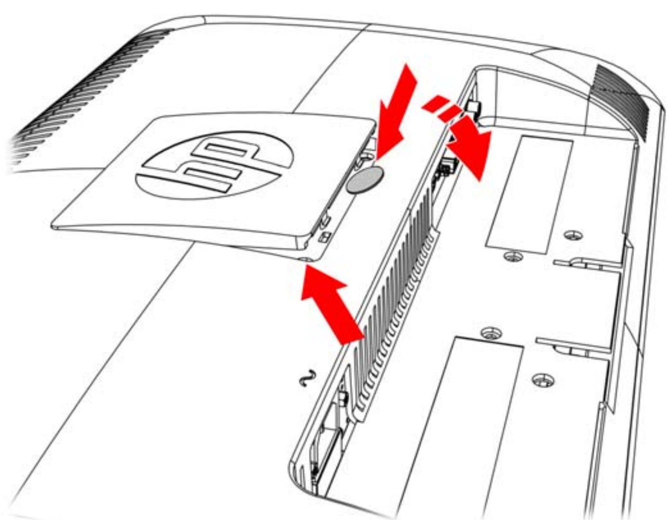
5. モニタースタンドをスライドさせて、モニターから離します。

図 3-5 モニタースタンドをスライドさせて、モニターから離す



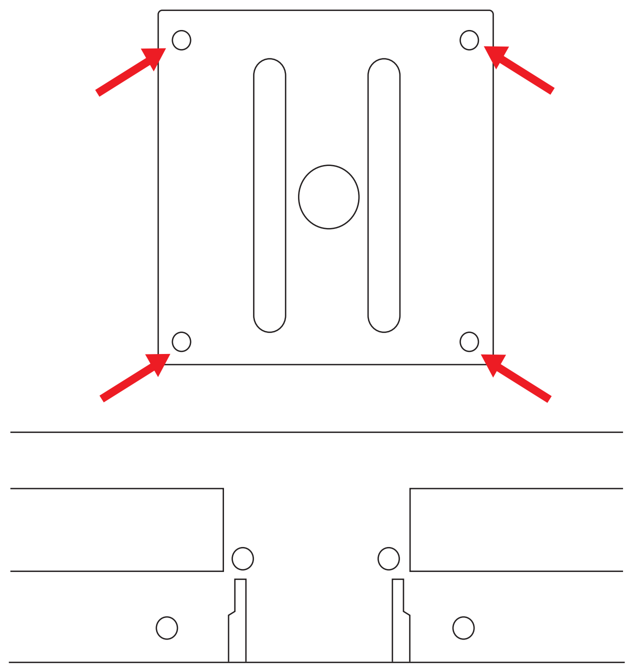
6. モニター背面にある四角いプレートを取り外します。硬貨をプレートの下部に引っ掛けてプレートを持ち上げます。

図 3-6 モニター背面からのプレートの取り外し



7. 4 つの穴が見えるようになります。これは、モニターの背面にスイングアームなどの固定器具を取り付けるためのものです。

図 3-7 壁への取り付け器具を固定する穴 ※取り付け器具は別売です。



8. 固定器具に付属の説明書に沿って、モニターを安全に取り付けます。

   パネルの背面にある 4 つの穴は、フラットパネルモニターを取り付けるための VESA 基準に準拠しています。

9. スイングアームまたはその他の固定器具を取り付けます。

モニターケーブルの接続

VGA（アナログ）ケーブル、DVI-D（デジタル）ケーブル、または HDMI ケーブルの接続

VGA ケーブル、DVI-D ケーブル、または HDMI ケーブルを使用して、モニターをコンピューターに接続します。DVI を使用するには、DVI 対応のグラフィックスカードが必要です。コネクターはモニターの背面にあります。コンピューターおよびモニターの電源が切れており、電源コードを抜いてあることを確認してください。

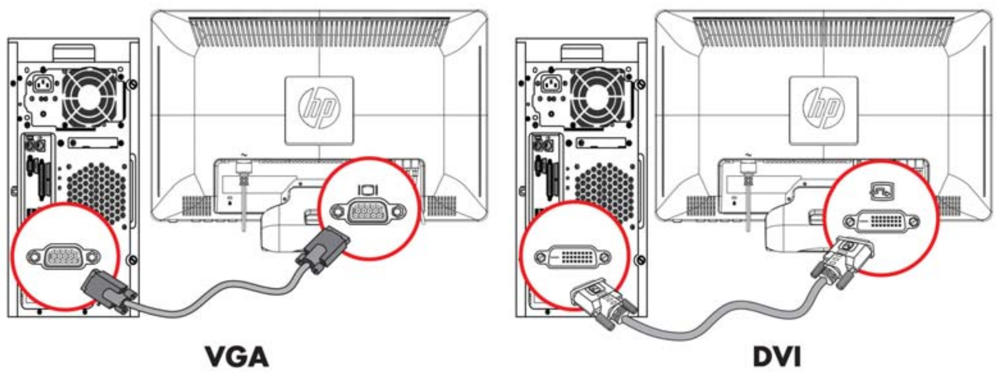
1. **VGA ケーブル（一部のモデルにのみ付属）を接続するには**

   VGA ケーブルの一方の端をモニターの背面に接続し、もう一方の端をコンピューターの VGA ビデオコネクターに接続します。

2. DVI-D ケーブル（一部のモデルにのみ付属）を接続するには

DVI-D ケーブルの一方の端をモニターの背面に接続し、もう一方の端をコンピューターの DVI-D ビデオコネクターに接続します。DVI 対応のグラフィックスカードがコンピューターに内蔵または接続されている場合にのみ、このケーブルを使用できます。DVI-D コネクターおよびケーブルはモニターに付属しています。

図 3-8 VGA または DVI-D ケーブルの接続：コネクターの位置は異なる場合があります

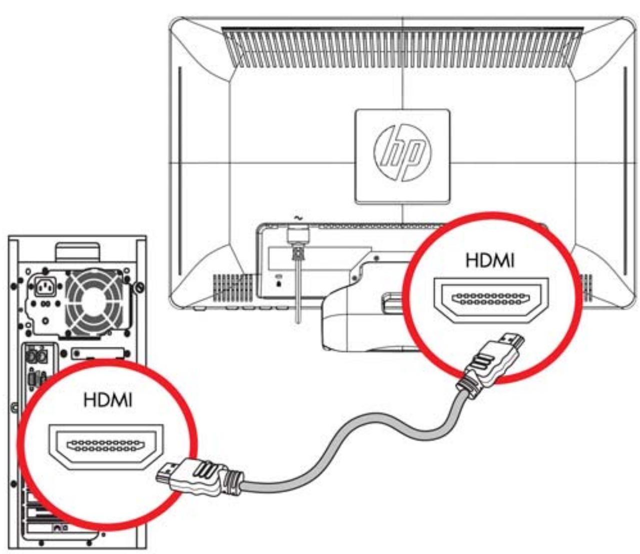


注記： VGA または DVI 信号を使用する時は、オーディオを別個に接続する必要があります。これは、VGA や DVI 信号がビデオデータのみを送受信し、オーディオデータは送受信しないためです。

3. HDMI ケーブル（一部のモデルにのみ付属）の接続

HDMI ケーブル（別売）の一方の端をモニターの背面に接続し、もう一方の端をコンピューターの HDMI コネクターに接続します。

図 3-9 HDMI ケーブルの接続



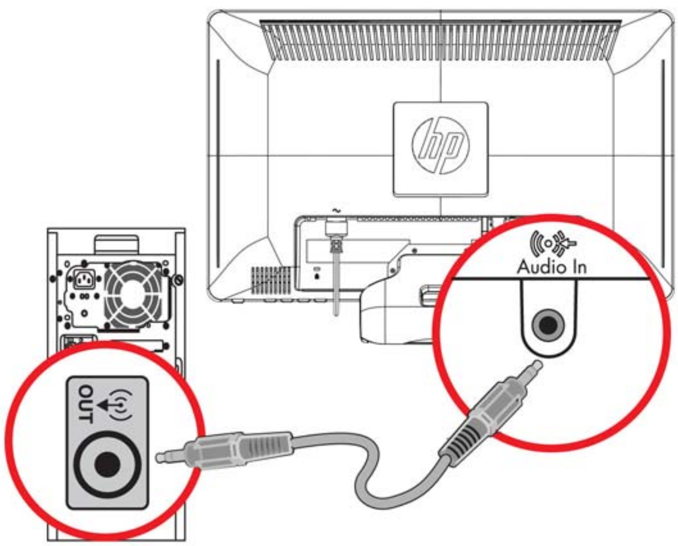
HDCP（High-Bandwidth Digital Content Protection）

お使いのモニターは HDCP をサポートしているため、高精細度コンテンツを受信できます。高精細度コンテンツは、ブルーレイディスク機器や、地上波またはケーブルテレビの高精細度放送などの多くのソースで使用されます。お使いのモニターが HDCP に対応していない場合は、保護された高精細度コンテンツを再生すると、画面が黒くなるか、または低い解像度で表示されることがあります。保護されたコンテンツを表示するには、コンピューターのグラフィックスカードとモニターの両方が HDCP をサポートしている必要があります。

オーディオケーブルの接続

次の図に示すように、オーディオケーブルを使用して内蔵のモニタースピーカーをコンピューターに接続します。

図 3-10 オーディオケーブルの接続：コネクターの位置は異なる場合があります



電源コードの接続

1. 電気および電源に関する、以下のすべての警告に従います。

⚠ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

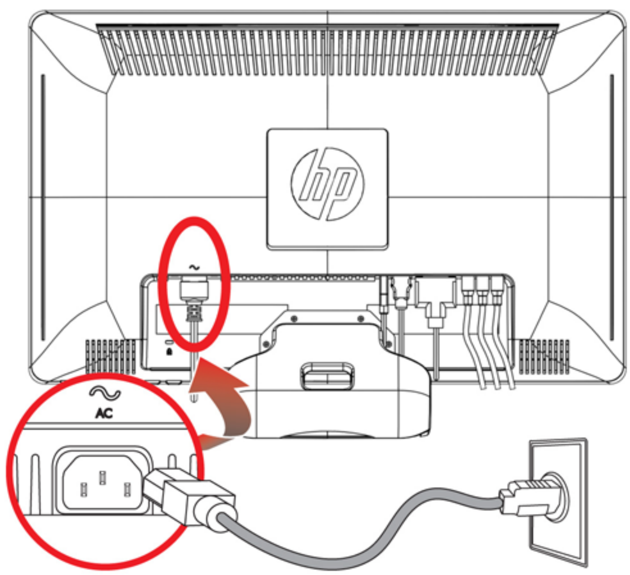
必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。電源コードはアースされた電源コンセントに差し込んでください。

電源コンセントは、装置にできるだけ近く、手の届きやすい場所にあることを確認してください。電源コードは、踏まれたり、上に物が置かれて引っ張られたりしないように配線してください。

電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っ張らないでください。

詳しくは、33 ページの 「技術仕様」を参照してください。

図 3-11 電源コードの接続



2. 電源コードの一方の端をモニターに接続し、もう一方の端をアースされた電源コンセントに接続します。

⚠ **警告！** 正しくアースされた電源コンセントがない場合は、感電によるけがを防ぐため、必ず以下のどちらかを行ってください。(1) 正しくアースされた電源コンセントアダプターを使用します。(2) 正しくアースされた電源コンセントを設置します。

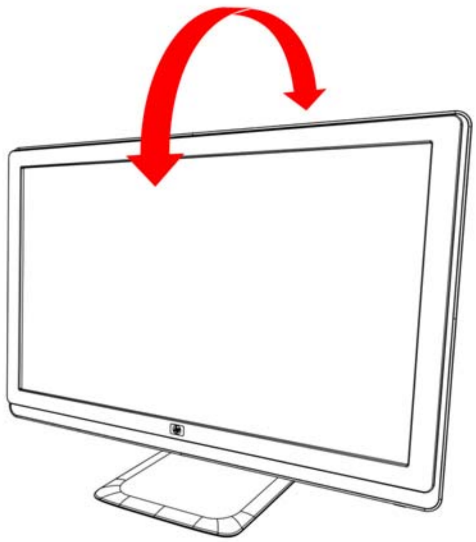
角度の調整

画面を見やすくするために、次のように、好みに応じて上下の向きを調整します。

1. 上下の向きを調整している時にモニターが倒れないように、モニタースタンドを正面から押さえます。

2. モニターの最上部を手前または奥に動かして、上下の向きを調整します。この時、画面に触れないようにしてください。

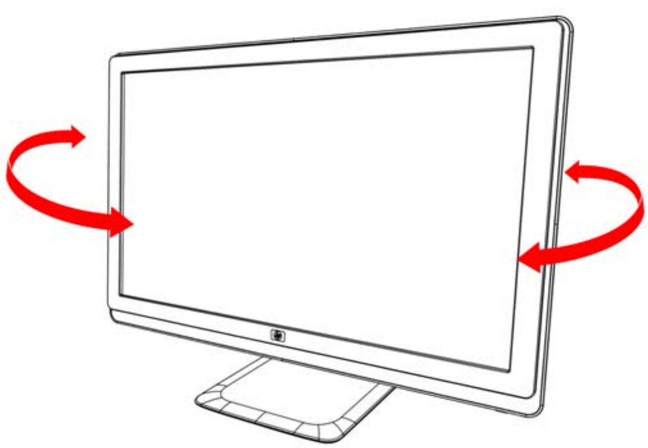
図 3-12　上下の向きの調整



左右の向きの調整

モニターの左右の向きを調整することにより、可動範囲を有効に活用できます。

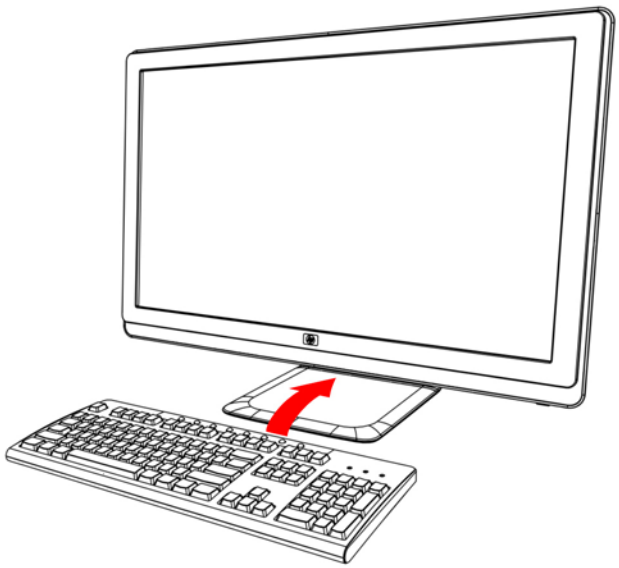
図 3-13　左右の向きの調整



△ **注意：**　向きや角度を調整している時に LCD 画面に圧力をかけることは、故障や傷の原因になりますのでお止めください。

キーボード収納スペース

キーボードを使用していない時にモニターの下に置いておくことで、机を広く使えるようになります。



4　モニターの操作

CD ソフトウェアおよびユーティリティ

このモニターに付属の CD には、お使いのコンピューターにインストールできるドライバーおよびソフトウェアが収録されています。

ドライバーのインストール

ドライバーを更新する必要がある場合は、モニタードライバーの INF ファイルおよび ICM ファイルを CD からインストールするか、またはインターネットからダウンロードすることができます。

CD からのモニタードライバーソフトウェアのインストール

モニタードライバーソフトウェアを CD からインストールするには、以下の手順で操作します。

1. CD をコンピューターの CD ドライブに挿入します。CD メニューが表示されます。
2. 言語を選択し [>>] アイコンをクリックします。
3. [**Install Monitor Driver Software**]（モニタ ドライバ ソフトウェアをインストールする）をクリックします。
4. 画面の説明に沿って操作します。
5. [コントロール パネル] の [画面] の設定に、適切な解像度およびリフレッシュレートが表示されていることを確認します。詳しくは、Windows® オペレーティングシステムの説明書を参照してください。

注記：　インストール時にエラーが発生した場合は、デジタル署名されたモニタードライバー（INF ファイルまたは ICM ファイル）を CD から手動でインストールすることが必要になる可能性があります。その手順については、CD の [Driver Software Readme]（モニタ ドライバ ソフトウェアの Readme）ファイルを参照してください（英語のみ）。

インターネットからの最新ドライバーのダウンロード

最新バージョンのドライバーおよびソフトウェアファイルを HP サポートサイトからダウンロードするには、以下の手順で操作します。

1. **http://www.hp.com/support/** にアクセスします。
2. お住まいの国または地域を選択します。

3. ［ドライバ&ソフトウェアをダウンロードする］を選択します。

4. お使いのモニターのモデル番号を入力し、右側の矢印をクリックします。お使いのモニター用のソフトウェアダウンロードページが表示されます。

5. ダウンロードページに記載されている手順に沿って、ドライバーおよびソフトウェアファイルをダウンロードし、インストールします。

6. お使いのシステムがインストール要件を満たしていることを確認します。

自動調整機能の使用

モニターの Auto（自動）/OK ボタンおよび付属の CD に収録されている自動調整用パターンソフトウェアを使用すると、VGA 入力対応の画面の画質を簡単に最適化できます。

お使いのモニターが DVI または HDMI 入力対応の場合は、この手順を行わないでください。お使いのモニターが VGA 入力対応の場合は、この手順を行うことで次の画質状況が修正されます。

- ぼやけて不明瞭な焦点
- ゴースト、線および影の表示
- 薄い縦線
- 画面上を上下に移動する横線
- 画面の中央に表示できない画像

△ 注意： モニターに長時間同じ画像を表示したままにしておくと（12 時間継続して使用していない状態）、画像の焼き付きが発生することがあります。モニター画面に画像の焼き付きが発生しないようにするには、スクリーンセーバーアプリケーションを常に有効にしておくか、長時間モニターを使用しない時はモニターの電源を切るようにしてください。画像の焼き付きはすべての液晶ディスプレイで発生する可能性があります。

自動調整機能を使用するには、以下の手順で操作します。

1. モニターの電源を入れてから 20 分間のウォームアップ時間をとります。

2. モニターの前面にある Auto（自動）/OK ボタンを押します。

   - また、Menu（メニュー）ボタンを押し、OSD メニューから［**Image Control**］（イメージコントロール）→［**Auto Adjustment**］（自動調整）の順に選択することもできます。
   - 希望する結果が得られない場合は、引き続き以下の手順で操作します。

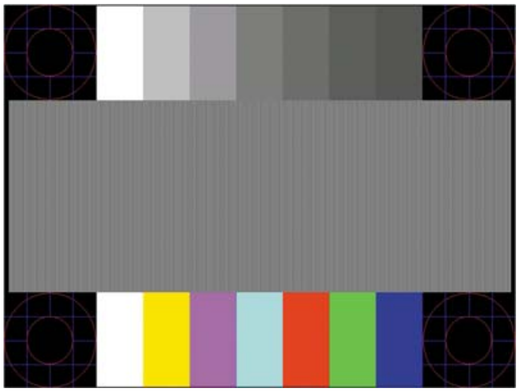
3. CD をコンピューターの CD ドライブに挿入します。CD メニューが表示されます。

4. 言語を選択し [>>] アイコンをクリックします。

5. ［**Open Auto Adjustment Software**］（自動調整ソフトウェアの起動）を選択します。

6. セットアップのためのテストパターンが表示されます。

図 4-1 自動調整のセットアップ用テストパターン



7. モニターのパネルにある Auto（自動）/OK ボタンを押して、画像を安定させ中央に表示します。

前面の各部

パネルの前面右側には、以下のコントロールボタンがあります。

番号	アイコン	説明
1	**Power** 	モニターの電源を入れたり、スタンバイまたはスリープモードにしたりします。電源ボタンは、モデルに応じて、モニターの上部または前面にあります
2	**Menu**	OSD メニューを表示したり、項目を選択したり、メニューを終了したりします
3		音量レベルを調整します
4	**Source**	コンピューターからのビデオ入力ソースを選択します
5	**−**	OSD メニューの項目間を逆方向に移動したり、調整レベルを下げたりできます
6	**+**	OSD メニューの項目間を順方向に移動したり、調整レベルを上げたりできます
7	**Auto**	OSD（オンスクリーンディスプレイ）がアクティブでないときに、ディスプレイを最適な設定に自動調整します/選択したオプションを入力します
8	**OK**	選択したオプションを入力します

オンスクリーンディスプレイ（OSD）の使用

オンスクリーンディスプレイとは、画面の手前に表示される画像のことです。モニター、テレビ、ビデオデッキ、および DVD プレーヤーで音量、チャンネル、時間などを表示するために使用されます。

1. モニターの電源が入っていない場合は、電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。
2. OSD メニューを表示するには、Menu（メニュー）ボタンを押します。OSD のメインメニューが表示されます。
3. メインメニューまたはサブメニュー内を移動するには、モニターの側面にある＋（プラス）ボタンを押して上にスクロールするか、-（マイナス）ボタンを押して反対方向にスクロールします。次に、Auto（自動）/OK ボタンを押して、強調表示された機能を選択します。

注記： 選択項目の一番下で下へスクロールすると、メニューの一番上が強調表示されます。選択項目の一番上で上へスクロールすると、メニューの一番下が強調表示されます。

4. 選択した項目のスケールを調整するには、＋（プラス）ボタンまたは-（マイナス）ボタンを押します。
5. [**Save and Return**]（保存して戻る）を選択します。設定を保存しない場合は、サブメニューから [**Cancel**]（キャンセル）を選択するか、またはメインメニューから [**Exit**]（終了）を選択します。
6. Menu（メニュー）ボタンを押して OSD を終了します。

注記： メニューが表示されている時にボタンを押さずに 30 秒（出荷時の設定）が経過すると、調整した値と設定が保存され、メニューが閉じます。

OSD メニューの選択

次の表で、オンスクリーンディスプレイ（OSD）のメニュー項目と各機能について説明します。OSD のメニュー項目を変更した後、メニュー画面に次のオプションが表示される場合は、どれかを選択します。

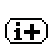
- **[Cancel]**（キャンセル）：前のメニューレベルに戻ります。
- **[Save and Return]**（保存して戻る）：すべての変更を保存して、OSD メインメニューの画面に戻ります。この [Save and Return] オプションはメニュー項目を変更した場合にのみ有効です。
- **[Reset]**（リセット）：前の設定に戻ります。

アイコン	メインメニューのオプション	サブメニューのオプション	説明
☼	Brightness（輝度）		画面の輝度を調整します
◑	Contrast（コントラスト）		画面のコントラストレベルを調整します

アイコン	メインメニューのオプション	サブメニューのオプション	説明
	Color（色）		画面の色を選択します。工場出荷時の初期設定値は、モデルに応じて 6500 K またはカスタムカラーです
		9300 K	わずかに青味を帯びた白色に変更します
		6500 K	わずかに赤味を帯びた白色に変更します
		sRGB	画面の色をイメージテクノロジー業界で使用される規格に準拠した色に設定します
		Quick View（クイック ビュー）	[Quick View] オプションのどれかで [Brightness]、[Contrast]、または [Color] を調整すると、設定が保存されます Movie（動画） Photo（写真） Gaming（ゲーム） Text（テキスト） Custom（カスタム）
		Custom Color（カスタム カラー）	カラースケールを選択および調整します R：赤色のレベルを設定します G：緑色のレベルを設定します B：青色のレベルを設定します
	Image Control（イメージコントロール）		画像を調整します。また、周辺光センサーの有効/無効を切り替えます（一部のモデルのみ）
		Auto Adjustment（自動調整）	画面を自動的に調整します（VGA 入力のみ）
		Clock（クロック）	画面背景に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます。[Clock] を調整することで、画像の水平表示も変更されます（VGA 入力のみ）
		Clock Phase（クロック フェーズ）	画面の焦点を調整します。これにより、水平ノイズが取り除かれ、文字の表示が鮮明になります（VGA 入力のみ）
		Horizontal Position（水平表示位置）	画像の左右の位置を調整します（VGA 入力のみ）
		Vertical Position（垂直表示位置）	画像の上下の位置を調整します（VGA 入力のみ）

アイコン	メインメニューのオプション	サブメニューのオプション	説明
		Custom Scaling（カスタム スケール）	画像の表示方法を選択します。次の中から選択します • Fill to Screen（スクリーンに合わせる）：画像が画面いっぱいに表示されます。画面の縦横比と異なる場合は、画像がつぶれて見えたり引き伸ばされたりします • Fill to Aspect Ratio（縦横比に合わせる）：画像が画面に収まるように表示されて、縦横比が維持されます
		Sharpness（シャープネス） （VGA のみ）	画像をくっきり見せるか、柔らかく見せるかを調整します
		Video OverDrive（ビデオ信号高速化）	動画や動きの速いゲームでモーションブラーを低減します。オン/オフを設定します。初期設定はオフです（一部のモデルのみ）
		Dynamic Contrast Ratio（ダイナミックコントラスト比）	DCR（Dynamic Contrast Ratio）設定の状態を表示します。DCR は、白と黒のレベルのバランスを自動的に調整することで、画像表示を最適にします。次の中から選択します On（オン） Off（オフ） 工場出荷時の初期設定は、モデルに応じてオンまたはオフです
	OSD Control（OSD コントロール）		画面上の OSD メニューの位置を調整します
		Horizontal OSD Position（OSD 水平表示位置）	OSD メニューの表示位置を画面内の左右に移動します。工場出荷時の初期設定値は 50 です
		Vertical OSD Position（OSD 垂直表示位置）	OSD メニューの表示位置を画面内の上下に移動します。工場出荷時の初期設定値は 50 です
		OSD Transparency（OSD 透明度）	OSD の背景にある情報を表示するよう調整します
		OSD Timeout（OSD タイムアウト）	最後にボタンを押してから OSD の表示が維持される時間の長さを秒単位で設定します。工場出荷時の初期設定値は 30 秒です

アイコン	メインメニューのオプション	サブメニューのオプション	説明
		Rotate OSD（OSD 回転）	[Landscape]（横向き）または [Portrait]（縦向き）を選択します。工場出荷時の初期設定は [Landscape] です（一部のモデルのみ）
	Management（マネジメント）		モニターの電源管理機能を調整します
		Power Saver（省電力）	省電力機能を有効にします（この章の「省電力機能」を参照してください）。次の中から選択します On（オン） Off（オフ） 工場出荷時の初期設定はオンです
		Power-On Recall（再開時に電源オン）	予期せず電源がオフになった後にモニターへの電力を復旧します。次の中から選択します On（オン） Off（オフ） 工場出荷時の初期設定はオンです
		Mode Display（モード表示）	OSD メインメニューを表示するたびに、解像度、リフレッシュレートおよび周波数の情報を画面に表示します。次の中から選択します On（オン） Off（オフ） 工場出荷時の初期設定は、モデルに応じてオンまたはオフです
		Monitor Status（電源オンのステータス表示）	モニターの電源がオンになるたびに、モニターの動作状況を表示します。ステータスの表示位置を次の中から選択します Top（上） Middle（中） Bottom（下） Off（オフ） 工場出荷時の初期設定は、モデルに応じてオンまたはオフです

アイコン	メインメニューのオプション	サブメニューのオプション	説明
		DDC/CI Support（DDC/CI サポート）	コンピューターで、[Brightness]（輝度）、[Contrast]（コントラスト）、[Color Temperature]（色温度）などの一部の OSD メニュー機能を制御できるようにします。次の中から選択します On（オン） Off（オフ） 工場出荷時の初期設定はオンです
		Bezel Power LED（ベゼルの電源ランプ）	電源ボタンのランプを点灯または消灯させます。オフに設定されていると、ランプは常に消灯したままになります
		Volume（音量）	音量レベルを調整します
		Speaker Self-Test（スピーカのセルフテスト） （HDMI のみ）	スピーカーのセルフテストを行います
		Sleep Timer（スリープ タイマ）	タイマー調整のメニューオプションを表示します Set Current Time（現在時間の設定）: 時間と分単位で現在の時刻を設定します Set Sleep Time（スリープタイムの設定）: モニターがスリープモードに入る時刻を設定します Set on Time（オンタイムの設定）: スリープモードから復帰する時刻を設定します Timer（タイマ）: スリープタイマー機能のオン/オフを設定します。初期設定はオフです Sleep Now（今スリープ）: 直ちにモニターがスリープモードに入るように設定します
	Language（言語）		OSD メニューを表示する言語を選択します。工場出荷時の初期設定言語は英語です
	Information（情報）		モニターに関する重要な情報を選択および表示します
		Current Settings（現在の設定）	現在のビデオ入力モードを表示します
		Recommended Settings（推奨設定）	お使いのモニターに推奨される解像度モードおよびリフレッシュレートを表示します

アイコン	メインメニューのオプション	サブメニューのオプション	説明
		Serial Number（シリアル番号）	モニターのシリアル番号を表示します。シリアル番号は HP のテクニカルサポートにお問い合わせになる場合に必要となります
		Version（バージョン）	モニターのファームウェアバージョンを表示します
		Backlight Hours（バックライト動作時間）	バックライトの合計の動作時間を表示します
		Service Support（サービス サポート）	サービスサポートを受けるには、http://www.hp.com/support を参照してください
	Factory Reset（出荷時設定にリセット）		設定を工場出荷時の設定に戻します
	Source Control（ソース コントロール）		ビデオ入力信号を選択します。工場出荷時設定は VGA です
		DVI	ビデオ入力信号として DVI を選択します
		HDMI	ビデオ入力信号として HDMI を選択します（一部のモデルのみ）
		VGA	ビデオ入力信号として VGA を選択します
		Default Source（デフォルト ソース）	アクティブかつ有効な 2 つのビデオソースにモニターが接続されている場合に、初期設定または最優先されるビデオ入力信号を選択します。ビデオ方式は自動的に判断されます
		Auto Switch Source（ソースの自動スイッチ）	システムの自動ビデオ信号入力のオン/オフを切り替えます。工場出荷時の初期設定はオンです

ビデオ入力コネクターの選択

入力コネクターには次の種類があります。

- VGA コネクター（アナログ）
- DVI-D コネクター（デジタル）（一部のモデルのみ）
- HDMI コネクター（一部のモデルのみ）

有効なビデオ信号がどちら側に入力されているかはモニターで自動的に判別され、画像が表示されます。VGA ケーブルか DVI-D ケーブル、またはその両方を接続できます。両方のケーブルが接続されている場合、入力方式は初期設定で DVI になります。HDMI ケーブルは DVI-D ケーブルの代わりに使用します。入力のソースは、OSD メニューの［**Source Control**］（ソース コントロール）オプシ

ョンを使用して変更できます。VGA から HDMI 入力ソースへの切り換えには数秒かかる場合があります。

モニターの状態の確認

モニターが以下の状態になると、特別なメッセージがモニター画面に表示されます。

- **[Input Signal Out of Range]**（範囲外の信号を入力しています）：解像度またはリフレッシュレートがモニターでサポートされる範囲より高く設定されているため、モニターがビデオカードの入力信号をサポートできないことを示します。

  ビデオカードの解像度またはリフレッシュレートの数値を下げます。新しい設定値を有効にするには、コンピューターを再起動します。

- **[Monitor Going to Sleep]**（スリープに入る）：モニターがスリープモードになることを示します。スリープモードでは、スピーカーの電源が切れます。
- **[Power Button Lockout]**（電源ボタンのロックアウト）：電源ボタンがロックされていることを示します。電源ボタンをロックすると、**[Power Button Lockout]** という警告メッセージが表示されます。
  - 電源ボタンがロックされている場合、ロックを解除するには電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。
  - 電源ボタンのロックが解除されている場合、ロックするには電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。
- **[Check Video Cable]**（ビデオケーブルのチェック）：ビデオ入力ケーブルがコンピューターまたはモニターに正しく接続されていないことを示します。
- **[OSD Lock-out]**（OSD ロックアウト）：前面にある Menu（メニュー）ボタンを 10 秒間押し続けると、オンスクリーンディスプレイ（OSD）を有効または無効にすることができます。OSD をロックすると、[OSD Lock-out] という警告メッセージが 10 秒間表示されます。

  OSD がロックされている場合、ロックを解除するには Menu（メニュー）ボタンを 10 秒間押し続けます。

  OSD のロックが解除されている場合、ロックするには Menu（メニュー）ボタンを 10 秒間押し続けます。

- **[Dynamic Contrast Ratio ON]**（ダイナミックコントラスト比オン）：[Quick View]（クイックビュー）オプションで [Movie]（動画）が選択されている場合に DCR がオンになっていることを示します。
- **[Dynamic Contrast Ratio OFF]**（ダイナミックコントラスト比オフ）：モニターが別の表示モードに変更されている場合に DCR がオフになっていることを示します。
- **[No Input Signal]**（入力信号がありません）：モニターがビデオ入力コネクターでコンピューターからのビデオ信号を受信していないことを示します。コンピューターまたは入力信号ソースがオフまたは省電力モードになっていないか確認してください。
- **[Auto Adjustment in Progress]**（自動調整中です）：自動調整機能が有効であることを示します。この章の「画質の調整」を参照してください。

画質の調整

新しいビデオモードで画像が表示されるたびに、自動調整機能によって画質（表示のサイズ、位置、クロック、およびフェーズ）が自動的に調整されます。VGA 入力をより厳密に調整するには、CD に収録されている自動調整ソフトウェアを実行します。この章の「自動調整機能の使用」を参照してください。

画質をさらに改善したい場合は、モニターの [Clock]（クロック）と [Clock Phase]（クロック フェーズ）の機能を使用して画像を調整します。この章の「アナログビデオの最適化」を参照してください。

アナログビデオの最適化

一部のモニターには、標準のアナログモニターとして動作できるようにするための高度な回路が組み込まれています。OSD メニューにある次の 2 つの機能を調整して、アナログの画質を向上させることができます。

- **[Clock]**（クロック）: 値を増減することで、画面背景に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます。
- **[Clock Phase]**（クロック フェーズ）: 値を増減することで、画像の歪みまたはぶれを最小限に抑えます。

自動調整機能を使用しても、アナログモードで希望するモニター画像が得られない場合にのみ、これらの機能を使用してください。最適な結果を得るには、以下の手順で操作します。

1. モニターの電源を入れてから 20 分間のウォームアップ時間をとります。
2. CD に収録されている調整パターンアプリケーションを表示します。
3. OSD メニューを表示し、[**Image Control**]（イメージ コントロール）を選択します。
4. 最初にメインの [Clock]（クロック）設定を正しく設定してください。[Clock Phase]（クロック フェーズ）設定はメインの [Clock]（クロック）設定に依存するためです。

   [Clock]（クロック）および [Clock Phase]（クロック フェーズ）の設定値を調整している時にモニターの画像が歪む場合は、歪みがなくなるまで調整を続けます。

   工場出荷時の設定に戻すには、OSD メニューを表示し、[**Factory Reset**]（出荷時設定にリセット）を選択してから、[**Yes**]（はい）を選択します。

省電力機能

モニターが通常の動作モードの時、電源ランプは緑色に点灯し、モニターは通常のワット数を消費します。消費電力については、「付録 B 技術仕様」を参照してください。

このモニターではまた、コンピューターが制御する省電力モードもサポートされています。モニターが省電力状態の時、モニター画面には何も表示されず、バックライトは消灯し、電源ランプはオレンジ色に点灯します。この時、モニターは最小限の電力を消費しています。モニターが省電力状態から復帰すると、短時間のウォームアップの後、通常の動作モードに戻ります。水平同期信号または垂直同期信号のどちらかが検出されない場合、モニターは省電力状態になります。この機能を動作させるには、お使いのコンピューターで省電力機能を有効にする必要があります。

省電力機能の設定の手順について詳しくは、お使いのコンピューターに付属の説明書を参照してください（省電力機能は、パワーマネージメント機能、節電機能など、説明書により名称が異なる場合があります）。

注記： 省電力機能は、モニターが省電力機能を備えたコンピューターに接続されている場合にのみ動作します。

A　トラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

トラブル	解決方法
電源ランプが点灯していない	電源ボタンを押してあり、電源コードがアースされた電源コンセントとモニターに正しく接続されていることを確認します OSD メニューの［**Management**］（マネジメント）を選択し、［**Bezel Power LED**］（ベゼルの電源ランプ）を選択します。[Bezel Power LED] オプションが [Off] （オフ）に設定されていないかどうか確認し、設定されている場合は［**On**］（オン）モードに設定します
画面に何も表示されない	電源コードを接続して、電源を入れます ビデオケーブルを正しく接続します。詳しくは7 ページの 「モニターのセットアップ」を参照してください キーボードのキーを押すかマウスを動かして、画面表示を消すユーティリティを無効にします
画像がぼやけている、不鮮明、または暗すぎる	モニターの前面にある Auto（自動）/OK ボタンを押します。それでも画質が改善されない場合は、Menu（メニュー）ボタンを押して OSD メニューを開き、輝度およびコントラストのスケールを調整します
画像が中央に表示されない	フロントパネルの Menu（メニュー）ボタンを押して OSD メニューにアクセスします。［**Image Control**］（イメージ コントロール）を選択してから、［**Horizontal Position**］（水平表示位置）または［**Vertical Position**］（垂直表示位置）を選択して、画像の位置を調整します
画面に [Check Video Cable]（ビデオケーブルのチェック）と表示される	モニターの VGA または DVI-D ビデオケーブルをコンピューターの VGA または DVI-D コネクターに接続します。ビデオケーブルを接続する時にコンピューターの電源がオフになっていることを確認してください
画面に [Input Signal Out of Range]（範囲外の信号を入力しています）と表示される	コンピューターを再起動し、Safe モードに入ります。サポートされている設定値に変更します（33 ページの 「技術仕様」の「プリセットビデオモード」にある表を参照）。コンピューターを再起動し、新しい設定値を有効にします
画像がぼやけており、ゴーストや影が表示される	コントラストおよび輝度を調整します 延長ケーブルやスイッチボックスを使用していないことを確認します。コンピューターの背面にあるグラフィックスカードの出力コネクターに、モニターを直接接続することをおすすめします 自動調整機能によってこの問題が解決されることがあります（VGA 入力の場合のみ）

トラブル	解決方法
モニターを最適な解像度に設定できない	グラフィックスカードが最適な解像度をサポートしていることを確認します グラフィックスカードでサポートされる最新のドライバーがインストールされていることを確認します。HP システムの場合は、http://www.hp.com/support/ からお使いのシステムの最新のグラフィックスドライバーをダウンロードできます。その他のシステムの場合は、お使いのグラフィックスカードの Web サイトを参照してください
ハイビジョンコンテンツを表示しているときに、画面が黒くなるか、または低い解像度で表示される	お使いのモニターとコンピューターが HDCP に対応しているかどうかを確認します「HDCP (High-Bandwidth Digital Content Protection)」または http://www.hp.com/support を参照してください
内蔵スピーカーから音声が聞こえない	**以下のことを行います** • ヘッドフォンを使用して、元の音声が正しく出力されていることを確認します • フロントパネルの Menu（メニュー）ボタンを押して OSD メニューにアクセスします。[**Management**]（マネジメント）→ [**Volume**]（音量）の順に選択して音量を調整します • 音量ボタンを使用して音量を上げます • スピーカーがミュート（消音）されていたり低すぎたりしないか確認します。Windows の［**スタート**］ボタン→［**コントロール パネル**］→［**ハードウェアとサウンド**］の順にクリックして、[オーディオ デバイスとサウンド] で［**システム音量の調整**］をクリックします。[メイン音量] でスライダーを上に動かします • HDMI を使用して接続している場合は、[**Speaker Self Test**]（スピーカのセルフテスト）の [OSD Volume]（OSD 音量）オプションでスピーカーが機能していることを確認してから、ソース入力に問題がある可能性のある機器のみに HDMI を接続します
プラグアンドプレイ機能が動作しない	モニターのプラグアンドプレイ機能が動作するには、プラグアンドプレイ機能に対応したコンピューターとグラフィックスカードが必要です。お使いのコンピューターの製造販売元に確認してください モニターのビデオケーブルをチェックし、曲がっているピンがないことを確認します モニタードライバーがインストールされていることを確認します。詳しくは17 ページの「モニターの操作」の「ドライバーのインストール」を参照してください。モニタードライバーは、http://www.hp.com/support/ からも入手できます
画像が揺れたり、ちらついたり、波模様が表示されたりする	電気的な干渉を引き起こす可能性のある電気製品を、モニターからできるだけ遠ざけます お使いの解像度に対応した、モニターの最大リフレッシュレートを使用します

トラブル	解決方法
HDMI 接続時に音声が聞こえない	オペレーティングシステムで、HDMI オーディオがメインのオーディオ出力として選択されていることを確認します。これを行うには、Windows の［**スタート**］ボタン→［**コントロール パネル**］→［**サウンド**］の順にクリックして、[再生] タブの HDMI 出力の項目にチェックが入っていることを確認してから［**OK**］をクリックします
モニターが常にスリープモード（オレンジ色のランプ）になっている	コンピューターの電源スイッチがオンになっている必要があります コンピューターのグラフィックスカードが所定のスロットにしっかりと差し込まれている必要があります モニターのビデオケーブルがコンピューターに正しく接続されていることを確認します モニターのビデオケーブルをチェックし、曲がっているピンがないことを確認します お使いのコンピューターが動作していることを確認します。それには、[Caps Lock] キーを押し、ほとんどのキーボードにある Caps Lock ランプの状態を調べます。コンピューターが動作していれば、[Caps Lock] キーを押すたびにランプが点灯または消灯するはずです

HP Web サイトからのサポート情報の入手

カスタマーサービスにお問い合わせになる前に、http://www.hp.com/support の HP テクニカルサポートを参照してください。お住まいの国または地域を選択し、お使いのモニターのサポートページへのリンクをクリックします。

お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目を参照しても問題が解決しない場合は、テクニカルサポートをご利用ください。テクニカルサポートのお問い合わせ先については、モニターに付属の冊子を参照してください。

テクニカルサポートをご利用いただく際に、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニターのモデル番号（モニター背面のラベルに記載されています）
- モニターのシリアル番号（モニター背面のラベルに記載されています。OSD の [Information]（情報）メニューからも確認できます）
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生した時の状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラーメッセージ
- ハードウェア構成
- お使いのハードウェアおよびソフトウェアの名称とバージョン

製品ラベルの位置

モニターの製品ラベルには製品番号とシリアル番号が記載されています。お使いのモデルのモニターについて HP にお問い合わせになる時に、これらの番号が必要になる場合があります。

製品ラベルはモニターの背面にあります。

B　技術仕様

以下の仕様はすべて、HP の部品製造元から提供されている標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作レベルとは異なる場合があります。

HP LCD モニター

表面処理：ハードコーティング処理済み反射防止偏光子

入力端子：

- VGA コネクター
- DVI-D 24 ピン D タイプコネクター（一部のモデルのみ）
- HDMI コネクター（一部のモデルのみ）

表 B-1　1910m モデル

仕様：	
ディスプレイのタイプ：	TFT LCD アクティブマトリクス
表示可能画像サイズ：	47.0 cm（18.5 インチ）対角方向
傾斜角度：	-5～+25°
最大質量（非梱包時）：	4.1 kg
寸法（高さ×幅×奥行き）：	355×470×184 mm
最大グラフィックス解像度：	1366×768（60 Hz）アナログモード
最適グラフィックス解像度：	1366×768（60 Hz）アナログモード
テキストモード：	720×400
ドットピッチ：	0.30 mm
水平周波数（アナログモード）：	24～83 kHz
垂直周波数（アナログモード）：	50～76 Hz
環境条件	
温度（高度には依存しない）	
動作時：	5～35℃

表 B-1　**1910m モデル（続き）**

仕様：	
非動作時：	-20～60℃
相対湿度（結露しないこと）：	
動作時：	20～80%
非動作時：	5～95%
電源：	100～240 VAC（ca）、50/60 Hz
消費電力：	最大 28.5 W
スリープモード時の消費電力：	標準 2 W 未満

表 B-2　**2010f/i/m モデル**

仕様：	
ディスプレイのタイプ：	TFT LCD アクティブマトリクス
表示可能画像サイズ：	50.8 cm（20 インチ）対角方向
傾斜角度：	-5～+25°
最大質量（非梱包時）：	5.4 kg
寸法（高さ×幅×奥行き）：	502.6×371.8×183.1 mm
最大グラフィックス解像度：	1600×900（60 Hz）アナログモード
最適グラフィックス解像度：	1600×900（60 Hz）アナログモード
テキストモード：	720×400
ドットピッチ：	0.2768 mm
水平周波数（アナログモード）：	24～83 kHz
垂直周波数（アナログモード）：	50～76 Hz
環境条件	
温度（高度には依存しない）	
動作時：	5～35℃
非動作時：	-20～60℃
相対湿度（結露しないこと）：	
動作時：	20～80%
非動作時：	5～95%
電源：	100～240 VAC（ca）、50/60 Hz
消費電力：	最大 35 W
スリープモード時の消費電力：	標準 1 W 未満

表 B-3 **2210i/m モデル**

仕様：	
ディスプレイのタイプ：	TFT LCD アクティブマトリクス
表示可能画像サイズ：	55.68 cm（21.53 インチ）対角方向
傾斜角度：	-5～+25°
最大質量（非梱包時）：	5.5 kg
寸法（高さ×幅×奥行き）：	392×536×200 mm
最大グラフィックス解像度：	1920×1080（60 Hz）アナログモード
最適グラフィックス解像度：	1920×1080（60 Hz）アナログモード
テキストモード：	720×400
ドットピッチ：	0.2480 mm
水平周波数（アナログモード）：	24～94 kHz
垂直周波数（アナログモード）：	50～76 Hz
環境条件	
温度（高度には依存しない）	
動作時：	5～35℃
非動作時：	-20～60℃
相対湿度（結露しないこと）：	
動作時：	20～80%
非動作時：	5～95%
電源：	100～240 VAC（ca）、50/60 Hz
消費電力：	最大 56 W
スリープモード時の消費電力：	標準 2 W 未満

表 B-4 **2310i/m モデル**

仕様：	
ディスプレイのタイプ：	TFT LCD アクティブマトリクス
表示可能画像サイズ：	23.0 インチ（58.42 cm）対角方向
傾斜角度：	-5～+25°
最大質量（非梱包時）：	9.8 kg
寸法（高さ×幅×奥行き）：	412×573×200 mm
最大グラフィックス解像度：	1920×1080（60 Hz）アナログモード

表 B-4　**2310i/m モデル（続き）**

仕様：	
最適グラフィックス解像度：	1920×1080（60 Hz）アナログモード
テキストモード：	720×400
ドットピッチ：	0.265 mm
水平周波数（アナログモード）：	24～94 kHz
垂直周波数（アナログモード）：	50～76 Hz
環境条件	
温度（高度には依存しない）	
動作時：	5～35℃
非動作時：	-20～60℃
相対湿度（結露しないこと）：	
動作時：	20～80%
非動作時：	5～95%
電源：	100～240 VAC（ca）、50/60 Hz
消費電力：	最大 56 W
スリープモード時の消費電力：	標準 2 W 未満

表 B-5　**2510i モデル**

仕様：	
ディスプレイのタイプ：	TFT LCD アクティブマトリクス
表示可能画像サイズ：	63.5 cm（25 インチ）対角方向
傾斜角度：	-5～+25°
最大質量（非梱包時）：	8.1 kg
寸法（高さ×幅×奥行き）：	436×618×201 mm
最大グラフィックス解像度：	1920×1080（60 Hz）アナログモード
最適グラフィックス解像度：	1920×1080（60 Hz）アナログモード
テキストモード：	720×400
ドットピッチ：	0.288 mm
水平周波数（アナログモード）：	24～94 kHz
垂直周波数（アナログモード）：	50～76 Hz
環境条件	
温度（高度には依存しない）	

表 B-5 2510i モデル（続き）

仕様：	
動作時：	5～35℃
非動作時：	-20～60℃
相対湿度（結露しないこと）：	
動作時：	20～80%
非動作時：	5～95%
電源：	100～240 VAC（ca）、50/60 Hz
消費電力：	最大 60 W
スリープモード時の消費電力：	標準 2 W 未満

表 B-6 2710m モデル

仕様：	
ディスプレイのタイプ：	TFT LCD アクティブマトリクス
表示可能画像サイズ：	68.58 cm（27 インチ）対角方向
傾斜角度：	-5～+25°
最大質量（非梱包時）：	9.6 kg
寸法（高さ×幅×奥行き）：	469×671×214 mm
最大グラフィックス解像度：	1920×1080（60 Hz）アナログモード
最適グラフィックス解像度：	1920×1080（60 Hz）アナログモード
テキストモード：	720×400
ドットピッチ：	0.265 mm
水平周波数（アナログモード）：	24～94 kHz
垂直周波数（アナログモード）：	48～76 Hz
環境条件	
温度（高度には依存しない）	
動作時：	5～35℃
非動作時：	-20～60℃
相対湿度（結露しないこと）：	
動作時：	20～80%
非動作時：	5～95%
電源：	100～240 VAC（ca）、50/60 Hz

表 B-6　**2710m モデル（続き）**

仕様：	
消費電力：	最大 120 W
スリープモード時の消費電力：	標準 2 W 未満

プリセットビデオモード

このモニターでは、多くのプリセットビデオ入力モードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

表 B-7　**工場出荷時のプリセットビデオ入力モード：1910m**

プリセット	解像度	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	640×480	31.47	59.94
2	720×400	31.47	70.09
3	800×600	37.88	60.32
4	1280×720	45.00	60.00
5	1024×768	48.36	60.00
6	1280×960	60.00	60.00
7	1280×1024	63.98	60.02
8	1366×768	47.71	59.79

表 B-8　**工場出荷時のプリセットビデオ入力モード：2010f/i/m**

プリセット	解像度	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	640×480	31.47	59.94
2	720×400	31.47	70.09
3	800×600	37.88	60.32
4	1024×768	48.36	60.00
5	1280×720	45.00	60.00
6	1280×1024	63.98	60.02
7	1440×900	55.93	59.88
8	1600×900	55.54	59.98

表 B-9　**工場出荷時のプリセットビデオ入力モード：2210i/m、2310i/m、2510i、2710m**

プリセット	解像度	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	640×480	31.47	59.94

表 B-9 工場出荷時のプリセットビデオ入力モード：**2210i/m、2310i/m、2510i、2710m**（続き）

プリセット	解像度	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
2	720×400	31.47	70.09
3	800×600	37.88	60.32
4	1024×768	48.36	60.00
5	1280×720	45.00	60.00
6	1280×960	60.00	60.00
7	1280×1024	63.98	60.02
8	1440×900	55.93	59.88
9	1600×1200	75.00	60.00
10	1680×1050	65.29	60.00
11	1920×1080	67.50	60.00

LCD モニターの品質およびピクセルに関する方針

お使いの LCD モニターは、故障のない高い性能を保証できるようにするため、高度な規格に基づいて製造された高精度のテクノロジーを採用しています。それでもなお、ディスプレイに小さな輝点、暗点、または黒点が現れるという外見上の欠陥が発生する場合があります。これはどのメーカーから提供される LCD ディスプレイにも共通するものであり、お使いの LCD モニターに特有の問題ではありません。1 つ以上のピクセルまたはサブピクセルに欠陥がある場合、この問題が発生します。

1 ピクセルは、赤、緑、青のサブピクセル 1 つずつから成ります。欠陥のあるピクセル全体は常に点灯している（暗い画面に輝点が表示される）か、常に消灯しています（明るい画面に暗点が表示される）。点灯しているピクセルは、よりはっきりと確認できます。欠陥のあるサブピクセル（欠陥ドット）は、欠陥のあるピクセル全体より見えにくく、また小さいため、特定の画面背景上でのみ確認できます。

欠陥のあるピクセルを確認するには、モニターを通常の動作環境、通常の動作モード、およびサポートされる解像度とリフレッシュレートで使用し、画面から 50 cm ほど離れた位置で見ます。業界での技術改良が進み、外見上の欠陥が少ないディスプレイが生産されるようになることが期待されます。HP では、製品の改良に合わせてガイドラインを調整していく予定です。

お使いの LCD モニターおよびピクセルに関する方針について詳しくは、HP の Web サイト http://www.hp.com/support を参照してください。HP の Web サイトでピクセルに関する方針の情報（英語のみ）を探すには、検索ボックスに「HP Pixel Policy」と入力して [Enter] キーを押します。

C 規定に関するご注意

Federal Communications Commission Notice（米国向け）

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help.

Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Hewlett Packard Company may void the user's authority to operate the equipment.

Cables

Connections to this device must be made with shielded cables with metallic RFI/EMI connector hoods to maintain compliance with FCC Rules and Regulations.

Declaration of Conformity for Products Marked with the FCC Logo（米国向け）

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For questions regarding the product, contact:

Hewlett Packard Company

P. O. Box 692000, Mail Stop 530113

Houston, Texas 77269-2000

Or, call 1-800-HP-INVENT (1-800 474-6836)

For questions regarding this FCC declaration, contact:

Hewlett Packard Company

P. O. Box 692000, Mail Stop 510101

Houston, Texas 77269-2000

Or, call (281) 514-3333

To identify this product, refer to the Part, Series, or Model number found on the product.

Canadian Notice（カナダ向け）

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Avis Canadien

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

European Union Regulatory Notice（欧州連合向け）

This product complies with the following EU Directives:

- Low Voltage Directive 2006/95/EC
- EMC Directive 2004/108/EC

Compliance with these directives implies conformity to applicable harmonized European standards (European Norms) which are listed on the EU Declaration of Conformity issued by Hewlett-Packard for this product or product family.

This compliance is indicated by the following conformity marking placed on the product:

CE This marking is valid for non-Telecom products and EU harmonized Telecom products (e.g. Bluetooth).	CE XXXX* This marking is valid for EU non-harmonized Telecom products. *Notified body number (used only if applicable - refer to the product label)
This marking is valid for non-Telecom products and EU harmonized Telecom products (e.g. Bluetooth)	This marking is valid for EU non-harmonized Telecom products. *Notified body number (used only if applicable – refer to the product label).

Hewlett-Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, Germany

The official EU CE declaration of conformity for this device may be found at http://www.hp.com/go/certificates.

German Ergonomics Notice（ドイツ向け）

HP products which bear the "GS" approval mark, when forming part of a system comprising HP brand computers, keyboards and monitors that bear the "GS" approval mark, meet the applicable ergonomic requirements. The installation guides included with the products provide configuration information.

ご注意

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

Korean Notice（韓国向け）

B급 기기 (가정용 방송통신기기)	이 기기는 가정용(B급)으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

電源コードの要件

このモニターの電源には自動ライン電圧切替機能（ALS）が付属しています。この機能によって、モニターは 100～120 V または 200～240 V の AC 電圧で動作します。

このモニターに付属の電源コードおよびプラグは、電気用品安全法に適合しており、日本国内でご使用いただけます。

お買い上げの製品を海外でお使いになる場合は、その国で認定された電源コードをお買い求めください。

電源コードは、製品のラベルに記載された電圧と電流の定格に適合したものでなければなりません。ラベルに記載されている値より大きい定格のコードを使用してください。また、ワイヤの直径は 0.75 mm^2/18 AWG 以上、長さは 1.8～3.6 m でなければなりません。使用する電源コードの種類については、HP のサポート窓口までお問い合わせください。

電源コードは、踏まれたり、上に物が置かれて引っ張られたりしないように配線してください。また、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように、プラグ、コンセント、および製品側の電源コネクターの取り扱いにも注意して配線してください。

日本国内での電源コードの要件

この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属の電源コードのみをお使いください。

△ **注意：** 付属の電源コードを、他の製品で使用しないでください。

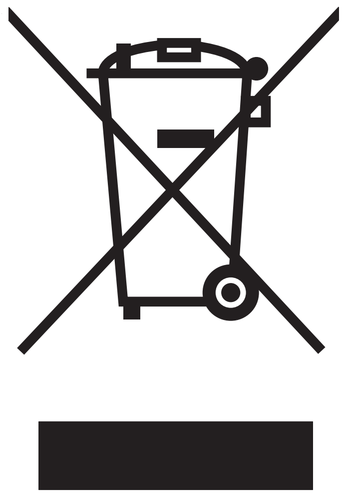
製品環境に関するご注意

有害物質の破棄

この HP 製品には、廃棄の際に特別な処理を必要とする水銀が液晶ディスプレイの蛍光ランプに含まれています。

これらの物質の廃棄には環境保護のための規定が設けられている場合があります。廃棄またはリサイクルについての情報は、お住まいの地域の自治体または EIA（Electronic Industry Alliance） http://www.eiae.org にお問い合わせください。

Disposal of Waste Equipment by Users in Private Household in the European Union（欧州連合向け）



This symbol on the product or on its packaging indicates that this product must not be disposed of with your household waste. Instead, it is your responsibility to dispose of your waste equipment by handing it over to a designated collection point for the recycling or waste electrical and electronic equipment. The separate collection and recycling of your waste equipment at the time of disposal will help to conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment. For more information about where you can drop off your waste equipment for recycling, please contact the local city office, the household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

化学物質

HP では、REACH（Regulation EC No 1907/2006 of the European Parliament and Council）などの法的要件に準拠するため、弊社製品に含まれる化学物質に関する情報を、必要に応じてお客様に提供することに努めています。お使いの製品の化学物質情報に関する報告書を参照するには、http://www.hp.com/go/reach（英語サイト）にアクセスしてください。

HP リサイクルプログラム

HP では、使用済みの電子機器や HP 製インクカートリッジのリサイクルを推奨しています。リサイクルプログラムについて詳しくは、http://www.hp.com/recycle（英語サイト）を参照してください。

製品の部材表示について

A Japanese regulatory requirement, defined by specification JIS C 0950, 2005, mandates that manufacturers provide Material Content Declarations for certain categories of electronic products offered for sale after July 1, 2006. To view the JIS C 0950 material declaration for this product, visit http://www.hp.com/go/jisc0950.

2008年、日本における製品含有表示方法、JISC0950が公示されました。製造事業者は、2006年7月1日以降に販売される電気・電子機器の特定化学物質の含有につきまして情報提供を義務付けられました。製品の部材表示につきましては、www.hp.com/go/jisc0950を参照してください。

有毒有害物质/元素的名称及含量表

根据中国
《电子信息产品污染控制管理办法》

液晶显示器

部件名称	有毒有害物质和元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
液晶显示器显示面板	X	X	O	O	O	O
机箱/其它	X	O	O	O	O	O

CRT 显示器

部件名称	有毒有害物质和元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
阴极射线管	X	O	O	O	O	O
机箱/其它	X	O	O	O	O	O

O：表示该有毒或有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求以下。

X：表示该有毒或有害物质至少在该部件所用的某一均质材料中的含量超出 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求。

表中标有 “X” 的所有部件都符合欧盟 RoHS 法规 — “欧洲议会和欧盟理事会 2003 年 1 月 27 日关于电子电器设备中限制使用某些有害物质的 2002/95/EC 号指令”。

注：环保使用期限的参考标识取决于产品正常工作的温度和湿度等条件。

Turkey EEE Regulation（トルコ向け）

In Conformity with the EEE Regulation

EEE Yönetmeliğine Uygundur